



2022年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月7日

上場会社名 マニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫 TEL 028-667-1811
 四半期報告書提出予定日 2022年4月14日 配当支払開始予定日 2022年5月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第2四半期の連結業績(2021年9月1日～2022年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第2四半期	9,651	16.2	3,079	15.6	3,390	23.7	2,333	15.8
2021年8月期第2四半期	8,304	2.0	2,665	4.2	2,740	9.0	2,014	12.6

(注) 包括利益 2022年8月期第2四半期 2,985百万円 (40.3%) 2021年8月期第2四半期 2,128百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第2四半期	23.71	
2021年8月期第2四半期	20.47	

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年8月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第2四半期	44,330	41,007	92.5
2021年8月期	42,693	39,202	91.8

(参考) 自己資本 2022年8月期第2四半期 41,007百万円 2021年8月期 39,202百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年8月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		11.00		12.00	23.00
2022年8月期		12.00			
2022年8月期(予想)				13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,801	9.4	5,892	10.2	5,615	1.1	3,985	7.1	40.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期2Q	106,911,000 株	2021年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2022年8月期2Q	8,484,468 株	2021年8月期	8,484,459 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期2Q	98,426,538 株	2021年8月期2Q	98,426,556 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入社している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のオミクロン株による感染拡大により景気回復のペースが減速しております。さらに足元では、ロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスク、サプライチェーンの混乱等がもたらす経済への下振れ懸念等により依然として先行き不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループにおきましては、「世界の品質を世界のすみずみへ」を使命として、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画をスタートさせております。当社グループのさらなる成長を目指して営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを進めております。また、中期経営計画の重点製品であるNiTiロータリーファイルの量産体制を構築するとともに、新製品硝子体撮子については下期の上市に向けて開発を進めてまいりました。さらにドイツの連結子会社では新本社工場建設用の土地取得が完了し、次期の完成に向けて着実に計画を進めております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりです。

中国を中心としたアジアでの販売拡大並びに欧州における需要回復により、売上高は9,651百万円（前年同期比16.2%増）となりました。今後出荷の見込みのない在庫を処分した結果、売上原価率は悪化したものの、売上高の増加等により営業利益は3,079百万円（同15.6%増）となりました。経常利益は為替差益が前年同期より増加したこと等により3,390百万円（同23.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に計上された投資有価証券売却益がなくなったものの、経常利益が増加したこと等により2,333百万円（同15.8%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

（サージカル関連製品）

品質評価の高い眼科ナイフの売上高が中国並びに日本で好調に推移したことから、売上高は2,780百万円（前年同期比22.4%増）となりました。売上高が増加したこと等により、セグメント利益（営業利益）は973百万円（同30.6%増）となりました。

（アイレス針関連製品）

中国並びに欧州において売上が好調に推移したことから、売上高は2,857百万円（前年同期比17.1%増）となりました。売上高の増加があったものの、今後出荷の見込みのない在庫を処分した結果、セグメント利益（営業利益）は782百万円（同0.1%減）となりました。

（デンタル関連製品）

インドをはじめとするアジアにおいてダイヤモンド等の売上高が好調に推移したこと等により、売上高は4,013百万円（前年同期比11.8%増）となりました。また、売上高が増加したこと等から、セグメント利益（営業利益）は1,324百万円（同16.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,637百万円増加し、44,330百万円となりました。これは主に、現金及び預金に加え、土地が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ167百万円減少し、3,323百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,804百万円増加し、41,007百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと及び為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ148百万円増加し、18,205百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3,008百万円（前年同期比 0.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上により資金が増加した一方で、法人税等の支払額が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2,011百万円（前年同期比 268.9%増）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,219百万円（前年同期比 9.8%増）となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、2021年10月8日の「2021年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありませんが、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の状況及びロシア・ウクライナ情勢を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,287	19,194
受取手形及び売掛金	1,901	2,192
有価証券	608	600
商品及び製品	772	631
仕掛品	3,885	3,666
原材料及び貯蔵品	1,808	1,881
その他	369	361
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	27,631	28,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,033	4,038
機械装置及び運搬具(純額)	4,206	4,435
土地	3,873	4,320
その他(純額)	1,122	1,271
有形固定資産合計	13,235	14,065
無形固定資産		
のれん	73	24
ソフトウェア	24	76
その他	796	825
無形固定資産合計	895	927
投資その他の資産		
投資有価証券	387	347
繰延税金資産	350	290
保険積立金	177	160
その他	15	14
投資その他の資産合計	931	813
固定資産合計	15,062	15,806
資産合計	42,693	44,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	156	140
未払金	373	289
リース債務	69	67
未払法人税等	1,004	905
賞与引当金	462	471
その他	493	588
流動負債合計	2,559	2,463
固定負債		
リース債務	59	29
役員退職慰労引当金	102	50
退職給付に係る負債	582	583
資産除去債務	151	163
その他	35	33
固定負債合計	931	860
負債合計	3,490	3,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	988	988
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	39,750	40,902
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	38,650	39,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	25
為替換算調整勘定	571	1,233
退職給付に係る調整累計額	△60	△54
その他の包括利益累計額合計	552	1,204
純資産合計	39,202	41,007
負債純資産合計	42,693	44,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
売上高	8,304	9,651
売上原価	2,938	3,686
売上総利益	5,366	5,964
販売費及び一般管理費	2,700	2,884
営業利益	2,665	3,079
営業外収益		
受取利息	33	51
受取配当金	1	—
投資事業組合運用益	4	4
為替差益	129	262
その他	7	22
営業外収益合計	176	340
営業外費用		
支払利息	0	0
シンジケートローン手数料	1	1
持分法による投資損失	13	—
自宅待機時休業補償等	57	—
外国付加価値税等	21	6
未稼働用地関連費用	—	19
その他	5	1
営業外費用合計	100	29
経常利益	2,740	3,390
特別利益		
保険解約返戻金	2	5
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	107	—
関係会社株式売却益	47	—
特別利益合計	157	6
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	3
固定資産撤去費用	13	—
役員退職慰労金	0	33
火災損失	12	—
特別損失合計	28	36
税金等調整前四半期純利益	2,869	3,360
法人税、住民税及び事業税	832	961
法人税等調整額	22	65
法人税等合計	854	1,027
四半期純利益	2,014	2,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,014	2,333

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	2,014	2,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	△15
為替換算調整勘定	178	661
退職給付に係る調整額	5	6
持分法適用会社に対する持分相当額	4	—
その他の包括利益合計	113	652
四半期包括利益	2,128	2,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,128	2,985

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,869	3,360
減価償却費	698	781
のれん償却額	47	49
火災損失	12	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△52
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	7
受取利息及び受取配当金	△35	△51
投資事業組合運用損益 (△は益)	△4	△4
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△88	△241
シンジケートローン手数料	1	1
持分法による投資損益 (△は益)	13	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1
固定資産除却損	2	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△107	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△47	—
保険解約損益 (△は益)	△2	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	△323	△278
棚卸資産の増減額 (△は増加)	150	447
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	168	6
仕入債務の増減額 (△は減少)	△55	△16
未払金の増減額 (△は減少)	△80	△42
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	75	85
その他	80	△35
小計	3,361	4,013
利息及び配当金の受取額	29	59
利息の支払額	△0	△0
保険金の受取額	62	—
火災損失の支払額	△81	—
法人税等の支払額	△355	△1,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,017	3,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△729
有形固定資産の取得による支出	△694	△1,264
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△33	△78
資産除去債務の履行による支出	△3	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	186	24
投資事業組合分配金による収入	4	7
保険積立金の積立による支出	△1	△1
保険積立金の解約による収入	7	25
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545	△2,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△27	△35
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,082	△1,181
シンジケートローン手数料の支払額	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△1,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	180	370
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,541	148
現金及び現金同等物の期首残高	16,973	18,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,515	18,205

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、リベート等の顧客に支払われる対価について、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、当第2四半期連結累計期間の売上高については21百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,272	2,441	3,590	8,304	-	8,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	△1	-
計	2,272	2,442	3,590	8,305	△1	8,304
セグメント利益	745	782	1,137	2,665	-	2,665

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,780	2,857	4,013	9,651	-	9,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2	-	2	△2	-
計	2,780	2,859	4,013	9,653	△2	9,651
セグメント利益	973	782	1,324	3,079	-	3,079

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。